

平成24年度学校経営計画

昭路北中学校区 校番(24) 昭和西小学校

校長名 山高 正樹 印

I 学校教育目標

ゆたかな心 (ほめる) ~しあわせづくり~

II ミッション(地域社会における自校の使命・存在意義)

行きたい学校, 行かせたい学校

III ビジョン(目指す学校像・自校の将来像)

- 児童・教職員が自信と誇りを持てる学校
- 環境が整備され、豊かさと規律ある美しい学校
- 保護者、地域と共に歩み、信頼される学校

IV 現状分析

本校は、経済的にも家庭的にも厳しい状況の家庭が多く、家庭の教育力の差もあり、基本的な生活習慣・規範意識が身につけていない児童がいる。西小四原則の中で「挨拶ができる」「時間を守る」は改善されてきたが「返事ができる」「掃除ができる」は、十分に達成されていない。また、一斉授業に参加しにくい児童や素直に指導を受け入れにくい児童がおり、基礎学力の定着が不十分である。運動能力についても十分に身につけていない。保護者連携においても考え方のずれや自己中心的な考えのため円滑に進まない場合もある。本年度、児童の基礎学力、基礎運動能力を向上させること、ゆたかな心を育成していくことが、重要な課題である。

V 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
1 学習規律を定着させ、基礎学力を確実に身に付けさせる。	① 大きな声で返事。だまって相手の方を向いて話を聴く。 ② 学力向上をめざし児童が分かる授業づくり。(貫) ③ 学校と家庭で読書をさせる。 ④ 学校生活の中で言語技術を活用させる。	○ 「西小学習パターン」の改善, 徹底を図る。 ○ 効果的に肯定的な評価を行う。 ○ 授業研究を通して授業改善に取り組む。 ○ 積極的に授業交流を行う。 ○ 生活カードの徹底, 児童の意欲を向上させる。 ○ 家庭学習を充実させる。(保護者連携の推進) ○ 個々に応じた具体的な読書冊数の目標を立てさせる。 ○ 低:150冊 中:100冊 高:75冊 年間5000冊 ○ 「ステップアップ表」をめやすに、言語技術を使うことに慣れさせる。
2 規範意識を身につけさせ、思いやりの心を育てる。	① 生徒指導規程の徹底を図る。 ② 気持ちの良い挨拶を徹底させる。(貫) ③ 道徳教育を充実させる。 ④ 整った学習環境をつくる。	○ どの教員も児童に対して同じ対応, 指導をする。 ○ 時と場と相手に応じた言葉づかいをさせる。 ○ 教職員自らが範を示す(あいさつ, 返事, 時間, 掃除) ○ あいさつの気持ちよさが分かるような取組の工夫をする。 ○ 年2回以上, 参観日に道徳の授業を行うとともに、道徳の時間の内容を充実させる。 ○ 異年齢集団を効果的に使い「たてわり掃除」を定着させる。 ○ 校内掲示を工夫, 充実させる。 ○ 教室をはじめ学校内を整え, 落ち着いた学習環境にする。
3 調和のとれた健康で粘り強いからだづくりをする。	① 体力・運動能力の向上を図る。(持久力)(貫) ② 基本的な生活習慣の確立	○ 走力, 持久力をつけるための体力づくり。 ○ 体育の授業の工夫。 ○ 休憩時間の活用。 ○ 生活カードの活用, 保護者との連携を図る。 ○ 早寝・早起き・朝ご飯
4 積極的に情報を発信し、安全で保護者、地域から信頼される学校にする。	① 保護者、地域とのつながりを深める。 ② 危機管理意識を徹底させる。	○ 学校便りを月1回以上発行, 学校ホームページを週1回以上更新し, 学校の考え方, 学校の様子を広報する。 ○ 地域人材を積極的に登用する。 ○ 家庭訪問の推進 ○ 校区巡視を月2回以上実施し, 地域の実態を把握する。 ○ 「ヒヤリ・ハット」の共有